

ふりがな

たなか たくじ

氏名

田中 拓道

## 1. 学歴

- 1995年3月 国際基督教大学教養学部社会科学専攻卒業
- 1995年4月 北海道大学大学院法学研究科公法専攻修士課程入学
- 1997年3月 同課程修了
- 1997年4月 同博士後期課程入学
- 1999年10月 フランス社会科学高等研究院政治学科 DEA 課程入学
- 2000年9月 同課程修了
- 2001年5月 北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
- 2003年12月 北海道大学大学院法学研究科にて論文博士（法学）取得

## 2. 職歴・研究歴

- 2001年6月 北海道大学大学院法学研究科助手
- 2004年4月 北海道大学大学院法学研究科講師
- 2006年4月 新潟大学法学部助教授（2007年4月～准教授）
- 2009年9月 フランス国立科学技術センター（CNRS）附属モーリス・アルバクス研究所客員研究員（2009年10月まで）
- 2010年4月 一橋大学大学院社会学研究科准教授
- 2015年4月 同研究科教授
- 2019年4月 トロント大学ムンク国際問題・公共政策研究所客員教授（2019年8月まで）
- 2019年9月 オックスフォード大学政治・国際関係学科客員研究員（2020年3月まで）

## 3. 学内教育活動

### （A）主な担当講義名

#### （a）学部学生向け

政治学、政治思想、比較政治、社会科学概論Ⅱ、EU入門

#### （b）大学院

政治学Ⅰ、政治学Ⅱ、先端課題研究

### （B）ゼミナール

学部後期、大学院、社会研究入門ゼミ

## 4. 主な研究テーマ

(1)ヨーロッパと日本の比較福祉政治。(2)福祉国家の基礎理論の再構築。グローバル資本主義、国家とガバナンス、社会運動と社会規範（リベラル・デモクラシー）という三者の相互関係を考察し、福祉国家の存立基盤と、今日の政治的対抗軸の所在を解明。(3)福祉国家と植民地主義。フランス福祉国家の形成と変容を、植民地主義の展開、脱植民地化、移民統合政策との関連から史的に考察。(4)先進国における比較福祉国家研究の蓄積を踏まえ、グ

ローバリゼーション下の世界的な格差への対応を、グローバル社会政策 (global social policy)、比較社会政策 (comparative social policy) という枠組みを発展させつつ検討。

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (a) 著書・編著

- ・『リベラルとは何か—17世紀の自由主義から現代日本まで』中公新書, 2020.
- ・田中拓道、近藤正基、矢内勇生、上川龍之進『政治経済学—グローバル化時代の国家と市場』(共著) 有斐閣, 2020. (分担部分: 序章「政治経済学とは何か」, 第1章「戦後の政治経済体制」, 第2章「グローバル化の政治経済学」, 第3章「資本主義の多様性」, 1-65)
- ・田村哲樹、加藤哲理編『ハーバーマスを読む』(分担執筆) ナカニシヤ出版, 2020. (分担部分: 第4章「労働と福祉国家」80-102)
- ・松村祥子、田中耕太郎、大森正博編『新世界の社会福祉第2巻フランス/ドイツ/オランダ』(分担執筆) 旬報社, 2019. (分担部分: 第IV章「最低所得保障 (フランス)」94-107)
- ・『社会思想史事典』, 丸善出版, 2019. (分担項目: 「貧困」「デュルケーム」「福祉国家 (社会国家)」)
- ・房宇、李暁魁編『福利国家的過去、現在と未来』(分担執筆) 中国社会科学出版社, 2018. (分担部分: 第5章「福利改革試験田—従比較的視点考察日本型福利国家」73-88)
- ・『福祉政治史—格差に抗するデモクラシー』勁草書房, 2017.
- ・田中拓道編『承認—社会哲学と社会政策の対話』(共著) 法政大学出版局, 2016. (分担部分: 序章「承認論の射程—社会政策の新たなパラダイム」, 5-35, 第10章「福祉政策における承認—フランスの最低所得保障改革を事例として」, 320-351)
- ・宮本太郎、山口二郎編『リアル・デモクラシー—ポスト「日本型利益政治」の構想』(分担執筆) 岩波書, 2016. (分担部分: 第9章「保守主義レジームの多様性—日独仏福祉国家再編の分岐」281-308)
- ・中野裕二ほか編『排外主義を問いなおす—フランスにおける排除・差別・参加』(分担執筆) 勁草書房, 2015. (分担部分: 第3章「フランスの福祉レジームと移民レジーム」41-59)
- ・『よい社会の探求—労働・自己・相互性』風行社, 2014.
- ・『빈곤과 공화국- 사회적 연대의 탄생』(『貧困と共和国—社会的連帯の誕生』韓国語訳、朴海南訳), 문학동네, 2014.
- ・宇野重規編『岩波講座政治哲学第6巻 近代の変容』(分担執筆) 岩波書店, 2014. (分担部分: 第9章「連帯の思想—福祉国家の哲学的基礎」201-222)
- ・高田実、中野智世編『近代ヨーロッパの探究 15 福祉』(分担執筆) ミネルヴァ書房, 2012. (分担部分: 第3章「公と民の対抗から協調へ—19世紀フランスの福祉史」115-149)
- ・押村高、中山俊宏編『世界政治を読み解く (世界政治叢書第10巻)』(分担執筆) ミネルヴァ書房, 2011. (分担部分: 第3章「どうなる、福祉国家」51-73)
- ・田中浩編『EUを考える』(分担執筆) 未来社, 2011. (分担部分: 第2章「社会的ヨーロッパと新しい福祉政治」30-49)
- ・宇野重規、伊達聖伸、高山裕二編『社会統合と宗教的なもの—十九世紀フランスの経験』(分担執筆) 白水社, 2011. (分担部分: 最終章「人格と連帯—十九世紀社会科学史におけるデュルケム」241-266)
- ・新川敏光編『福祉レジームの収斂と分岐—脱商品化と脱家族化の多様性』(分担執筆) ミネルヴァ書房, 2011. (分担部分: 第7章「フランス福祉レジームの変容」219-237)
- ・宮本太郎編『働く—雇用と社会保障の政治学 (シリーズ政治の発見第2巻)』(分担執筆) 風行社, 2011. (分担

部分：第2章「労働と連帯—商品化／脱商品化をめぐる」58-86)

- ・田村哲樹・堀江孝司編『模索する政治—代議制民主主義と福祉国家のゆくえ』(分担執筆)ナカニシヤ出版,2011.: 第6章「福祉国家と社会運動」163-184)
- ・近藤康史・齋藤純一・宮本太郎編『社会保障と福祉国家のゆくえ—新たなる理念と制度の展望』(分担執筆)ナカニシヤ出版,2011.(分担部分：第2章「社会的なものの歴史」24-43)
- ・小野塚知二編『自由と公共性—介入的自由主義とその思想的起点』(分担執筆)日本経済評論社,2009.(分担部分：第3章「社会的包摂と自由の系譜—フランスとイギリス」117-154)
- ・『貧困と共和国—社会的連帯の誕生』人文書院,2006.

## (b) 論文

- ・"Japanese Welfare State in Comparative Perspective: An Overview," *Hitotsubashi Bulletin of Social Sciences*, 11, pp.17-31, 2019.
- ・「解題・高齢化・長寿化と福祉国家」『法律時報』第91巻第1号, pp.40-45, 2018.
- ・「フランスの社会政策思想と現代」社会政策学会編『社会政策』第6巻第3号, pp.16-27, 2015.
- \* 「ヨーロッパ貧困史・福祉史研究の方法と課題」『歴史学研究』通巻887号, pp.10-19, 2011.
- ・「脱商品化とシティズンシップ—福祉国家の一般理論のために」『思想』通巻1043号, pp.145-162, 2011.
- \* 「市場・貧困・統治—18世紀末から1830年代のフランスにおける政治経済学」『経済学史研究』第52巻第1号, pp.20-34, 2010.
- ・「自由・人格・連帯—フランス第三共和政期社会思想の再解釈」『社会思想史研究』通巻33号, pp.19-31, 2009.
- ・「現代福祉国家研究における『政治』概念—1970年代以降の方法の変遷」『法政理論』第41巻第2号, pp.14-40, 2009.
- ・「現代福祉国家理論の再検討」『思想』通巻1012号, pp.81-102, 2008.
- \* 「労働の再定義—現代フランス福祉国家論における国家・市場・社会」『年報政治学』通巻2008(1)号, pp.11-36, 2008.
- \* 「(研究動向) ジャコバン主義と市民社会—19世紀フランス政治思想史研究の現状と課題」『社会思想史研究』通巻31号, pp.108-117, 2007.
- ・「(研究ノート) 福祉国家と市民社会の規範構造—フランス福祉国家の形成・再編期を事例として」『法政理論』第39巻第2号, pp.389-416, 2007.
- ・「現代フランスにおける連帯の再生論—労働と社会権との関わりから」『生活経済政策』130号, pp.25-29, 2007.
- \* 「『連帯』の変容—20世紀フランス福祉国家史試論」『年報政治学』通巻2006(1)号, p.226-244, 2006.
- \* 「社会契約の再構成—社会的排除とフランス福祉国家の再編」『社会政策学会誌』通巻16号, pp.77-90, 2006.
- ・「フランス福祉国家の思想的源流(1789~1910年)—社会経済学・社会的共和主義・連帯主義(5)」『北大法学論集』第56巻第2号, pp.103-163, 2005.
- ・「フランス福祉国家の思想的源流(1789~1910年)—社会経済学・社会的共和主義・連帯主義(4)」『北大法学論集』第56巻第1号, pp.97-147, 2005.
- ・「フランス福祉国家の思想的源流(1789~1910年)—社会経済学・社会的共和主義・連帯主義(3)」『北大法学論集』第55巻第5号, pp.93-146, 2005.
- ・「フランス福祉国家の思想的源流(1789~1910年)—社会経済学・社会的共和主義・連帯主義(2)」『北大法学論集』第55巻第4号, pp.175-232, 2004.
- ・「フランス福祉国家の思想的源流(1789~1910年)—社会経済学・社会的共和主義・連帯主義(1)」『北大法学論集』第55巻第2号, pp.27-83, 2004.

- \* 「フランス福祉国家論の思想的考察—『連帯』のアクチュアリティ」『社会思想史研究』 通巻 28 号, pp. 53-68, 2004.
- \* 「『連帯』の思想史のために—十九世紀フランスにおける慈善・友愛・連帯、あるいは社会学の起源」『政治思想研究』 通巻 3 号, pp. 97-114, 2003
- ・ "La question sociale et la politique : une origine philosophique de l'Etat social dans les années 1830 en France (2)," *Hokkaido Law Review*, 52(6), pp.219-268, 2002.
- ・ "La question sociale et la politique : une origine philosophique de l'Etat social dans les années 1830 en France (1)," *Hokkaido Law Review*, 52(4), pp.327-382, 2001.
- ・ 「(研究ノート) 西洋政治思想史における E. デュルケム—『社会』概念による『政治』観の再構成の試み(2)」『北大法学論集』 第 49 巻第 3 号, pp. 171-221, 1998.
- ・ 「(研究ノート) 西洋政治思想史における E. デュルケム—『社会』概念による『政治』観の再構成の試み(1)」『北大法学論集』 第 49 巻第 2 号, pp. 207-257, 1998.

### (c) 翻訳

- ・ 「人の長寿化—高齢者の諸制度、社会的時間、世代間の絆の再検討」(Anne-Marie Guillemard, "Longévité humaine: repenser toute l'organisation des âge, des temps sociaux et des liens entre générations," dans A.-M. Guillemard et E. Mascova dir., *Allongement de la vie: Quel défis? Quelles politiques?*, 2017) 『法律時報』 91 巻 1 号, pp. 36-40, 2018.
- ・ 「フェミニズム」ウィル・キムリッカ 『現代政治理論』(原著: Will Kymlicka, *Contemporary Political Philosophy: An Introduction*, Oxford University Press, 1990, revised ed. 2001) 日本経済評論社, pp. 371-451, 2003, 改訂版 2005.
- ・ 「(資料) ベンジャミン・グレッグ「不確定的世界における社会批判の可能性」1」(共訳)(原著: Benjamin Gregg, "Possibility of Social Critique in an Indeterminate World") 『北大法学論集』 50 巻 3 号, pp. 235-257, 1999.

### (d) その他

- ・ 「比較福祉国家研究と日本」『日本比較政治学会ニューズレター』 45 号, pp. 18-19, 2020.
- ・ (書評) ヤシャ・モンク 『自己責任の時代—その先に構想する、支えあう福祉国家』 (みすず書房), 『週刊図書新聞』, 2020.3.21
- ・ (書評) 宮島喬 『フランスを問う—国民、市民、移民』 (人文書院), 『日仏政治研究』 通巻 13 号, 2019.
- ・ (書評) 新川敏光 『田中角栄—同心円でいこう』 (ミネルヴァ書房), 『公明新聞』 2019 年 1 月号, 2019.
- ・ (書評) 伊達聖伸著 『ライシテから読む現代フランス—政治と宗教のいま』 (岩波新書), 『熊本日日新聞』, 2018.5.6.
- ・ (書評) 岡部造史 『フランス第三共和政期の子どもと社会—統治権力としての児童保護』 (昭和堂), 『西洋史学論集』 通巻 55 号, 2018.
- ・ (書評リプライ) 田中拓道 『福祉政治史』, 『人間福祉学研究』 第 10 巻第 1 号, 2017.
- ・ (書評) 広井良典編 『福祉の哲学とは何か—ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想』 (ミネルヴァ書房), 『公明新聞』, 2017.7.17.
- ・ (書評) 小田中直樹 『19 世紀フランス社会政治史』 (山川出版), 『法制史研究』 通巻 64 号, 2015.
- ・ (書評) 安藤祐介 『商業・専制・世論—フランス啓蒙の「政治経済学」と統治原理の転換』 (創文社), 『創文』 通巻 16 号, 2014.
- ・ (書評) 宮本太郎 『社会的包摂の政治学—自立と承認をめぐる政治的対抗』 (ミネルヴァ書房), 『社会福祉研究』 通巻 119 号, 2014.
- ・ (書評) 齊藤佳史著 『フランスにおける産業と福祉 1815—1914』 (日本経済評論社), 『西洋史学』 通巻 250

号, 2013.

- ・(書評) ウィル・キムリッカ『土着語の政治—ナショナリズム・多文化主義・シティズンシップ』(法政大学出版社), 『週刊図書新聞』 通巻 3097 号, 2013.
- ・(書評) 武川正吾・宮本太郎編『グローバリゼーションと福祉国家』(明石書店), 『生活経済政策』 通巻 192 号, 2012.
- ・「社会的ヨーロッパと新しい福祉政治 (リレー連載 EU を考える 10)」『未来』 534 号, pp. 25-33, 2011.
- ・(書評) キース・フォーカス『シティズンシップ—自治・権利・責任・参加』, 『週刊図書新聞』 通巻 3036 号, 2011.
- ・(書評) 金成垣編『現代の比較福祉国家論—東アジア発の新しい理論構築に向けて』(ミネルヴァ書房), 『海外社会保障』 通巻 175 号, 2011.
- ・(書評) 書評リプライ: 田中拓道『貧困と共和国』, 『社会福祉学』 第 48 巻第 4 号, 2008.
- ・(書評) 川合清隆『ルソーとジュネーヴ共和国—人民主権論の誕生』(名古屋大学出版会), 『政治思想学会会報』 通巻 25 号, 2008.
- ・「『社会的なもの』への想像力—フランスとイギリス」『創文』 503 号, pp. 6-10, 2007.
- ・(書評) ピエール・ロザンヴァロン著『連帯の新たな哲学—福祉国家再考』(勁草書房), 『週刊図書新聞』, 2006.8.12.
- ・「社会的シティズンシップの両義性—福祉国家の危機とは何か?」『創文』 481 号, pp. 1-5, 2005.

## B. 本研究科着任後の研究活動 (着任 2010 年)

### (a) 国内外学会発表

- ・ "Labor Market Dualization and Its Political Impact: A Comparative Study of Center-Left Governments in Japan and France," 比較政治学会, 2020.6, Web.
- \* "Different Policy Responses to Labor Market Dualization in Western Europe and East Asia", International Workshop, "European & Asian Perspectives on Welfare Issues," 2019.10, École des Hautes Études en Sciences Sociales, Paris.
- \* 「福祉改革の実験場—比較の中の日本型福祉レジーム」, 国際シンポジウム「福祉国家の過去・現在・未来 (Past, Present and Future of the Welfare State)」, 一橋大学・中国社会科学院政治学研究所・中国社会保障学会世界社会保障研究分会・中国人民大学共催, 2017.08, 北京.
- ・ 「フランス福祉史における公・民・私」, 名古屋近代フランス史研究会, 2016.3, 愛知県立大学サテライトキャンパス.
- ・ 「フランス共和国モデルの二重性—福祉レジームと移民レジーム」, 移民の参加と排除を考える日仏研究会, 2015.4, 一橋大学.
- \* 「フランス社会政策思想における社会的なものと経済的なもの」, 社会政策学会共通論題「社会改革思想と現代—社会政策の思想的基盤を問う」, 2014.5, 中央大学.
- ・ 「承認論から解釈的自己論へ—福祉の哲学的基礎」, 社会思想史学会, 2012.10, 一橋大学
- \* 「グローバル資本主義と政治学」, 日本政治学会共通論題: 政治は経済・金融をコントロールできるのか」, 2012.10, 九州大学.
- ・ 「連帯は国境を越えるか?—超国家的福祉レジームの分析枠組み」, 比較政治学会, 2011.6, 北海道大学.
- ・ 「ヨーロッパ統合とフランス福祉レジームの再編」, 国際社会学研究会, 2011.10, 一橋大学.
- ・ 「『社会』の比較思想史序説」, 成蹊大学思想史研究会, 2010.11, 成蹊大学.
- \* 「脱商品化とシティズンシップ—福祉国家の一般理論のために」, 政治思想学会シンポジウムⅡ, 2010.5, 東京大学

### (b) 国内研究プロジェクト

- ・科学研究費補助金, 基盤研究(B), 「不安定労働の時代における組織労働とデモクラシーに関する比較研究」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2020.4-2023.3.
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 「自由選択社会の比較政治学」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2017.4-2021.3.
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 「福祉国家再編の政治的対立軸—社会的投資戦略とそのオルタナティブ」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2013.4-2017.3.
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(B), 「EU の総合的研究/4 つの視点から—ヨーロッパ・社会民主主義・福祉国家・平和主義」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2011.4-2014.3.
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 「再商品化と脱商品化—福祉国家再編の新しい政治的対立軸に関する比較枠組みの構築」(研究代表者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.4-2013.3.
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(A), 「福祉・雇用レジームの転換と利益集団政治変容」(研究分担者), 独立行政法人日本学術振興会, 2010.4-2014.3.

### (d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

- ・先端課題研究 12 「社会科学の承認論的転回—社会哲学・社会政策の新動向とその射程」 2012-2014

## C. 受賞

- ・損保ジャパン日本興亜福祉財団賞 (『福祉政治史』に対して), 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団, 2018.
- ・社会政策学会奨励賞 (『貧困と共和国—社会的連帯の誕生』に対して), 社会政策学会, 2007.

---

## 6. 学内行政

### (B) 学内委員会

入学試験実施専門委員 (2012-2013)

大学院教育専門委員 (2020-2021)

---

## 7. 学外活動

### (a) 他大学非常勤講師など

札幌学院大学法学部 (2004.10-2005.9)

立教大学法学部 (2006.10-2007.3)

早稲田大学政治経済学部 (2006.10-2009.3)

広島大学法学部 (2007.12)

### (b) 所属学会および学術活動

日本政治学会 (2013-2014 企画委員), 社会政策学会, 比較政治学会, 政治思想学会

日仏政治学会, American Political Science Association, European Network for Social Policy Analysis

### (c) 公開講座・市民講座

- ・「社会的ヨーロッパのゆくえ」EUIJ 津田公開講座「社会的ヨーロッパの隘路と可能性」 2013.6.

- ・国際学生シンポジウム講演会, 2010.12.

**(d) 高校生向け出張講義・模擬講義**

- ・私立サレジオ学院高等学校出張講義, 2014.12.

**(e) その他（公的機関・各種団体・民間企業等における講演等）**

- ・「グローバル化に対応する政策パッケージ―比較政治経済学の観点から」経済同友会「民主主義・資本主義のあり方」委員会, 2018.10, 日本工業倶楽部.
- ・「市民は格差社会を変えられるか?―比較政治の観点から」損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会・シンポジウム, 2018.7, グランドアーク半蔵門.

---

## 9. 一般的言論活動

- ・「経済教室：全世代型社会保障の論点（上）」『日本経済新聞』, 2019.4.4.
- 「ロスジェネの問題提起、どこへ 若者の雇用・格差…関心下火」『朝日新聞』 2018.7.2.
- ・"Blueprint for the Future of Social Welfare (I) : Social Security Cutting Across Policies, Public Finance and Employment," Discuss Japan, 2018.4.6.
- ・「未来的社会保障（上）政策：覆盖財政和就業」Discuss Japan, 2018.3.30.
- ・「経済教室：社会保障の未来図（上）」『日本経済新聞』, 2017.12.28.
- ・「マクロン法について」NHK「BS1 キャッチ！世界の視点」 2015.2.23